

学校だより特別号

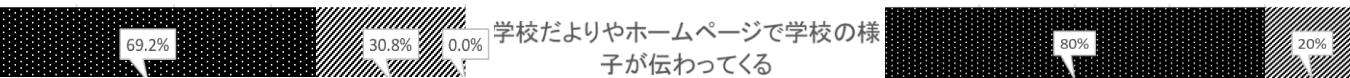
特集 学校評価 令和6年度

京都市立醍醐小学校 校長 横山 知史



アンケート【地域】

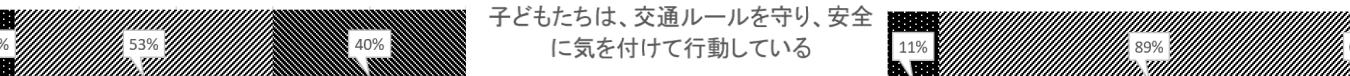
学校には、質問や相談しやすい雰囲気がある



学校だよりやホームページで学校の様子が伝わってくる



子どもたちは、自分から進んであいさつをしている



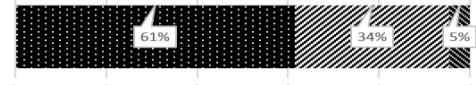
子どもたちは、交通ルールを守り、安全に気を付けて行動している



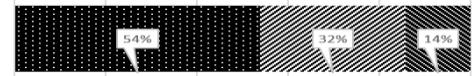
本校では、学校教育目標の実現を目指し、学校評価としてアンケートを行っています。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。「自分は、子どもたちにその子自身のよさを積極的に伝えられている」という項目は、保護者も教職員も9割以上の方が、肯定的な回答をされています。また、児童アンケートの「自分の住んでいる醍醐のまちが好きだ」という項目も約95%の児童が肯定的な回答をしています。学校・家庭・地域の大人たちの、醍醐に住む子どもたちへのあたたかいまなざしが、今回の児童アンケートのいずれの項目も肯定的な回答がほぼ8割を超えている結果につながっているのだと感じています。

アンケート【児童】

目標に向かってがんばって取り組んでいる。



自分にはよいところがあり、今の自分が好きだ。



人が困っているときは進んで助けている。



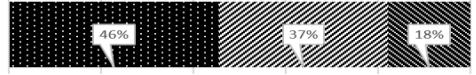
「ありがとう」や「ごめんなさい」が伝えられる。



学校に行くのは楽しい。



困りごとや不安があるときに先生に相談できる。



自分から進んで体を動かしている。



自分の住んでいる「醍醐のまち」が好きだ。



将来の夢や目標(こんな人になりたい・できるようになりたい)をもっている。



自分から学習に向かっている。



自分の考えを伝えることができている。



自分から進んで家庭学習をしている。



自分から進んで読書をしている。



自分から進んであいさつをしている。

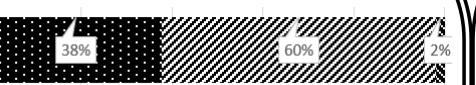


先生は私の良いところを認めてくれている。



アンケート【保護者】

学校は、よりよい教育活動に向けて努力していると思う。



自分は、子どもたちにその子自身のよさを積極的に伝えられている。



自分は、子どもが自分や人を大切にできるよう働きかけている。



自分は、子どもたちに時や場に応じて、「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝えられている。



子どもは、楽しく学校に通うことができる。



自分は、子どもたちの相談に乗れている。



わが子が、自分から進んで体を動かすような言葉掛けをしたり、機会をもったりしている。



自分は、地域や社会の活動に参加できている。



わが子が、本をよく読むように声をかけたり、本をすすめたりしている。



【参考】全国的な傾向は・・・

今のが好きだ

内閣府「子ども・若者の意識と生活に関する調査」報告書（令和5年3月）内、「10歳～14歳対象調査」より



自分には、よいところがあると思いますか



将来の夢や目標を持っていますか



人が困っているときは、進んで助けていますか



文部科学省・国立教育政策研究所「令和6年度 全国学力・学習状況調査」報告書「児童質問紙」より

グラフの見方

質問項目



あまり
そう思わない

そう思う
だいたいそう思う

「今のが好きだ」本校では「そう思う」が54%、「だいたいそう思う」が32%という結果でした（内閣府の調査では、「そう思う」が34%、「だいたいそう思う」45%）。全国的な調査結果と比較しても、自分を肯定的に受けとめている児童の割合が高いことが分かります。その一方で、自分を肯定的に受けとめられない児童も14%いることが分かります。まずは、教職員をはじめ、保護者の方、地域の方、身近な大人たちが、「自分を大事に」「人を大事に」している姿を見せてることで、子どもたちを精一杯応援していけたらと思います。



「社会に出たときにどんな力を身につけていてほしいですか。」(上位を紹介)

「保護者の方の回答」
1自分の考え方やおもいを効果的に相手に伝える力 (57%)
2多様な人とおりあいを付けて、他者とよりよく関わる力 (55%)
3「自分ならできる」という自己効力感 (42%)

「地域の方の回答」
1自分の考え方やおもいを効果的に相手に伝える力 (73%)
2自分で自分の気持ちをコントロールする力 (67%)
3多様な人とおりあいを付けて、他者とよりよく関わる力 (40%)

「教職員の回答」
1多様な人とおりあいを付けて、他者とよりよく関わる力 (65%)
2自分で自分の気持ちをコントロールする力 (55%)
3自分の考え方やおもいを効果的に相手に伝える力 (35%)

「その他」に記入していただいた回答の中から

紙面スペースの都合上、すべてのご意見を掲載することができません。申し訳ありません。

様々なことに興味をもっており、覚えていくことも好きなので、その力を伸ばせねばと考えます。ひとりで頑張るので、困ったときは助けを求められるようになってもらいたいです。
【3年生の保護者の方から】

「助けを求める」とは自分の弱みをさらすことでもあり、抵抗を感じる子もいるかもしれません。でもややりたいことがあるとき、自分には足りないところもあることを把握し「ここは自分にはできないから助けてほしい」とできそうな人に声をかけて頼ることも大切な力だと思います。「助けて」と言えるからこそ、助けを必要とする人の気持ちが分かるようになります。

自分の興味のあること、好きなことを見つけて、粘り強く取り組んでもらいたいです。ひとりでは、何事も成し遂げられないので他者とのコミュニケーション力も培っていかなければと考えます。
【1年生の保護者の方から】

今後、情報はいくらでも生成AIにもらうことができますが、自分が好きなことや何に興味があるのかは教えてもらえない。「おもしろい！」と感じたらまずやってみたらいい」そんな心のもちようが何よりも大事だと考えます。大人がそれを奪うことのないように、気をつけていきたいものです。

人にはそれぞれ長所があり、自分にはないが他の人がもっている長所をかりて目標を達成したり、ともに成長したりできるのではないかと考えます。知識が増えることにより多くの選択肢が増えていくので、知識もとても大切だと考えます。伝える力、伝え方はとても大切だと思います。何よりも大切なことは、まずは、自分で自分のことを好きになり、自分を大切にする生き方を選んでいくことが日々生きていく上で最も重要なことだと考えています。
【6年生の保護者の方から】

「他の人がもっている長所をかりて」こういう「だれもが弱みもあり、長所もあり・・・お互い様なんだ」という見方が広がっていけば、もっとみんなが生きやすい社会になるのではと感じます。「自分のことを好きになる」「自分の心と体を大切にできる」「自分の中の弱みも強みも自分自身が認めてあげられる」そのためにはまず「自分を知る」ことが出発点かなあと思います。

「社会に出たときに」という条件のもとで考えると、個々の知識や学力・スキル等はあるに越したことはないものの、やはり大切なのは自他の関わり方に尽きるのではないかと実感しております。他者との関わりを学ぶことが、学校という場での大きな意義だと思います。
【地域の方から】

「他者との関わり方を身に付ける」ことの大切さは、保護者の方、地域の方、教職員に問わらず、大変高い割合で、そう感じられている方が多いことが分かりました。少し深掘りしてみます。

「他者との関わり方を身に付ける」①

大人の方でも、これまで「人間関係に悩んだことがない」という方は、おられないのではないでしょうか。

「暴力に頼らず対話の力によってトラブルを解決する」力は、子どもたちが社会に出たときに、不可欠な力だと思います。

多様化が進む社会の中で、子どもたちが、この先どんなコミュニティに所属するにしても、必ずそこで、気が合う人、気が合わない人は出てくるのではないかとうか。そのたびに気が合わないことにネガティブに心が奪われていては、何よりも本人自身がしんどく、生きづらくなってくるのではないかと思います。(「嫌われる勇気」で有名なアドラー心理学でも 人の悩みの 9割が人間関係と言われています。)

小さなトラブルは、「人と関わる力」を学ぶ絶好のチャンスです。

「解決するのはあなたですよ。」というメッセージのもとで励ましたり、何か手伝うことがないか尋ねたりすることが大事なのではないでしょうか。
みなさん、どう思われますか。



「他者との関わり方を身に付ける」②

人と関わることは、悩みもつきますが、子どもたちには、人と関わることのやさしさにも目を向けてほしいと感じています。例えば、他者と関わり合うことで得られる幸せに「人にしてもらう幸せ」と「人にしてあげる幸せ」があると思います。どちらも大事な幸せですが、「してもらう幸せ」ばかりになってしまふと、

「してもらってありがたい（感謝）」→「してもらって当然（当たり前）」になってしまいます。

そうすると、うまくいかないことが起こったとき、それを「他者のせい」「状況のせい」にし、自分以外の人やものに矢印を向けるくせがついてしまいます。

起きれなかったのは、起こしてくれなかった親のせいだ！
仲直りができないのは、先生や親が何もしてくれないから

本校では、「してもらう幸せ」と同じように「人にしてあげる幸せ」を実感できるように異学年での交流を積極的に進めています。

1年生×6年生【国語科】 1年生×2年生【校外学習】 たてわりグループ【人権学習】

